

12月定例会は6日開会

一般質問 たったの4人

22日に12月定例会開催にあたって議会運営委員会が開かれ、上程議案の確認、議事日程などが決定されました。一般質問通告は丸山議員、阪東議員、岡田議員、西澤議員のたったの4人だけ。丸山委員長からも「なんで質問せよ、アカンやん」などの意見が出されました。

一方、同委員会の冒頭、野瀬喜久男町長は開会あいさつの中で、来年1月に改選を迎える町長選挙に出馬しない意思に至ったなどと表明しました。今後、次期町長候補をよぐる波紋が広がります。

西澤議員の一般質問通告要旨を紹介します。

1、町民の福祉と暮らし・子育て・小零細業者の経営支援重視を

1、甲良町議会議員一同として10月27日付けで提出した令和6年度予算要求書に記載した施策の実行を誠実に受け止め予算編成に反映されたいが。

2、その内、特に私が強調したいのは、①住宅リフォーム補助制度の復活です。以前から提起しているように外構工事 フェンス、門扉設置工事などを補助対象工事の中に加えることが重要 ②子ども 15歳以下のインフルエンザ予防接種

補助を来年度予算よりも早く創設し、今期の流行に備えるべきでは。③町内循環バス(ワゴン車)運行の調査費を計上すること。17項目と共に、ぜひ実現を求めたいが。

3、幹部職員の役割も大変重要

1、ある町民から、次のようなご意見をいただいた。町に対する評価の中で町長も重要やけど、職員さん、とりわけ課長・課長補佐など役場の中で指導的・リーダーとして仕事をしてもらいたい。そして続けて町長さんにええことはドシドシ提案し、間違ったときにはアカンとはっきり言うてほしいし、今でも言うてるのか、とても疑問や。このような趣旨でした。幹部職員を代表して総務

2、ごみ半減の計画は先ず、生ごみの分別から始めることが有効では。

3、生ごみは「自家処理」を基本に、行政が促進の道筋をつけ援助・支援する体制づくりが必要で、豊郷町の取り組みに学ぶことが重要だと考えるが。

4、ゴミの抜本的減量を取り組む上でも、財政負担軽減の観点からも「ごみ処理広域化」や「大型処理化」からの離脱は重要な視点ではないか。

2、ごみ減量計画策定の確実な進行を

1、議会議決された抜本的減量計画策定を求める「決議」の履行状況は。

12月定例会の日程

4日(月) 全員協議会：議案説明など
6日(水) 開会：議案上程、請願趣旨説明など、一般質問(丸山議員、阪東議員、岡田議員、西澤議員の順) = 午後からの予定
15日(金) 閉会：議案採決など
※上記いずれも9時開会です。

《再掲》

甲良町の
ごみ処理関連費用 (令和4年度決算より)
単位：円

資源ごみ回収運搬業務委託	640,200
草・木くず処理委託	1,677,060
粗大ごみ収集委託	17,534,550
空びん処理委託	660,000
一般廃棄物処理運搬委託	28,644,000
ペットボトル・トレイ等収集委託	1,051,800
不燃物処理(彦愛犬広域組合負担金)	11,864,000
可燃物処理(湖東広域衛管組合負担金)	46,952,000
合計	109,023,610

※他に、し尿処理(湖東広域衛管組合負担金) 38,772,000

甲良民報

2023年11月26日 900号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士373(西澤)
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949
◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

党議席の値打ちを実感



ある日、こんな電話をいただきました。「ええスーパーを持ってきてもろて助かってます。ありがとうございます」。2020年、町内唯一のスーパー・マルゼンの撤退で、「買い物難民が生まれる」との声から、代替店の出店を求めて署名を提起。様々な方の協力で、1

私の活動日誌

甲良町議
西澤 伸明

300筆を町長に提出しました。党がスーパーを誘致したわけでもないのに、署名運動のおかげだと思っておられるのでしょうか。

この4年間、他の議員とも協力し、可決・採択された請願・意見書が自分でも不思議なくらい数多くあります。PCR検査の抜本的拡充、補聴器購入補助、安定ヨウ素剤事前配布、再審法改正、などです。改めて党議席の値打ちを思い知らされる今日です。

課巨へ見解を述べ

イスラエルはガザ攻撃やめよ 岸田首相は即時停戦 働きかけるべき

彦根駅前で市民有志が緊急行動

彦根平和委員会と市民有志の呼びかけで11月10日、彦根駅前で緊急のアピールを行いました。平和委員会事務局の間塚氏、原発のない社会をつくる会の杉原氏らがスピーチ。両氏は、イスラエルが大規模地上侵攻で病院や学校を爆撃する残虐行為を糾弾し、オスラエル、ハマス双方は直ちに停戦せよなどと訴えました。

西澤議員も参加し「戦争はしない」と定めた憲法9条を持つ日本の首相が、イスラエルの攻撃は「国際法違反」だと言えないことを厳しく批判。イスラエルをかばい続けるバイデン大統領の顔色をうかがうような岸田政権を退陣させよう！などと訴えました。

